

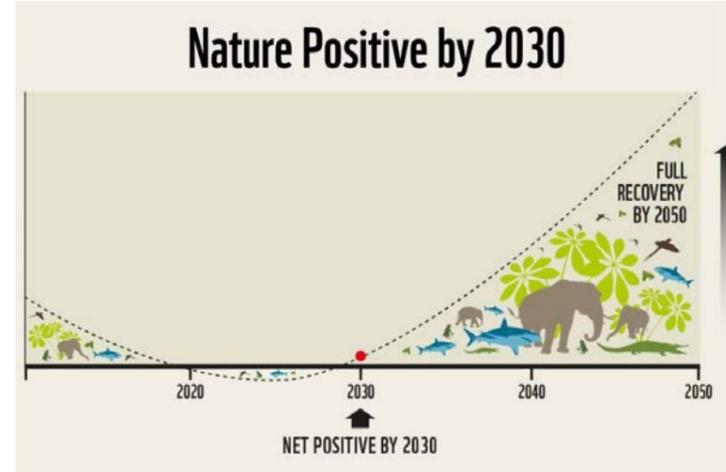
ネイチャーポジティブ（自然再興）によるコベネフィット検討 ワーキンググループ

WG 概要

ネイチャーポジティブな地域づくりを目指しつつ、脱炭素や復興への相乗便益を最大化させるための施策の在り方の検討

脱炭素 への 貢献

- ✓ 「脱炭素」と「生物多様性(ネイチャーポジティブ)」は両輪で取り組む必要がある世界的な課題
- ✓ 生物データ基盤が整い、脱炭素施策もスムーズに



出典： <https://www.naturepositive.org/news/latest-news/nature-positive-initiative-launches-to-promote-the-integrity-and-implementation-of-the-global-goal-for-nature/>

目指す 姿

- ✓ ネイチャーポジティブは「地域」が主役
- ✓ 豊かな自然と共存する地域づくり、脱炭素・ネイチャーポジティブ都市として世界に発信

これまでの取組み

- ✓ 個別WGの開催・事業立案（2023年度3回）
- ✓ 自治体WGネイチャーポジティブ勉強会の開催（2024年2月）
- ✓ 個別自治体ヒアリングの実施（2024年8月）
 - ✓ 田村市様
 - ✓ 富岡町様

現状及び事業化に向けた課題

- ✓ 自治体の方々へのヒアリングの結果、事業の企画は、強く賛同・実施したいと言っている
 - ✓ 「12市町村での生きもの探しアプリイベント」
 - ✓ 地域に人を呼び
 - ✓ 自然を可視化し
 - ✓ 地域の価値向上
- 課題：「予算確保」「協業企業」



今後の取組み方針

- ✓ 企画「福島12市町村での生きもの探しアプリイベント」の実証 & 事業化
- ✓ 実施時期・期間：R7年度 約2か月間
- ✓ 自治体・地域企業と連携した、大規模Biomeアプリイベント
- ✓ コンセプト
 - ✓ ①地域に人を呼び、②自然を可視化して、③地域の価値向上（ネイチャーポジティブ経済）に繋げる



今後のスケジュール

	R6	R7	R8	R9	R10
検討	➡				
実証		➡			
事業化		➡			

プラットフォーム関係者へのメッセージ

- ✓ 「生物多様性」x 「〇〇」で、課題・要望に合わせて企画が可能
- ✓ 例) 交流人口増, 地域の自然魅力再発見, 生涯学習, 少ない労力でのイベント実施
- ✓ 自治体の方々、福島に拠点を持つ企業の方々とは是非お話しさせてください

ワーキンググループ参画事業者

- ✓ 幹事：(株)バイオーム
 - ✓ 郡山観光交通(株)
 - ✓ 大成建設(株)
 - ✓ 日揮(株)
 - ✓ 日本エヌ・ユー・エス(株)
 - ✓ 合同会社オトナリ
 - ✓ アジア航測(株)
 - ✓ 他、個人参加
- [連絡先]
(株)バイオーム
メール：info@biome.co.jp